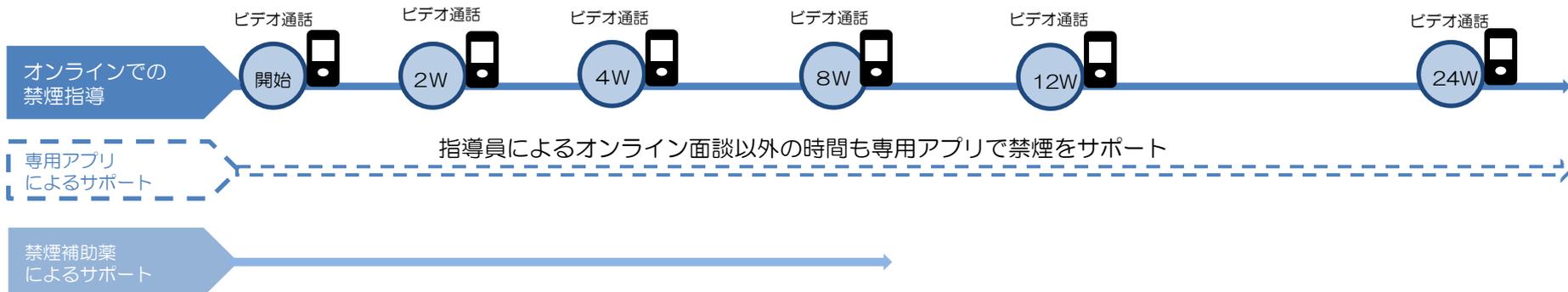


船員保険におけるオンラインによる禁煙プログラムの実施について

1. 実施概要

直接医療機関へ通院することなく、スマートフォンのビデオ通話機能等を利用して、オンラインによる禁煙サポートを受ける「ascure(アスキュア) 卒煙プログラム」(※)を、船員保険加入者を対象として試験的に実施しています。

(※) 「ascure(アスキュア) 卒煙プログラム」・・・保健師等の禁煙指導員によるオンラインカウンセリングと医師開発の専用アプリで禁煙をサポートとする完全オンラインの禁煙プログラムです。



2. 現在の進捗状況

平成30年7月より以下のようなスケジュールでプログラムを実施しています。

平成30年7月 ～8月	加入者へのDM送付等により当該プログラムへの参加者を募集。
8月	プログラムの申込期間（8月3日～20日）中に 25名 から申込み。
8～9月	申込者のうち 21名 が初回面談予約（4名は、申込みがあったものの初回面談予約は行われなかった）。
10月～	17名 がプログラム正式開始（4名は、乗船スケジュールの都合等によりプログラム辞退となった）。
平成31年2月末	17名全員 がプログラムを継続中（うち15名が3ヶ月目面談まで完了）。
3月末	プログラム終了予定。

3. 本格実施に向けた課題

① 乗船スケジュールの都合により、プログラムを開始できない

このプログラムは、初回面談後2週間以内に禁煙補助薬を受け取る必要があるが、乗船スケジュールの都合により、期限内に禁煙補助薬を受け取れずに辞退となった方がいた。

⇒事前に「初回面談後2週間以内に禁煙補助薬を受け取る必要がある」ことを説明したうえで、初回面談の申込みをしていただくよう改善する。

② 禁煙指導員とのオンライン面談をスケジュール通り実施できない

船員という仕事の特性上、休憩時間が前後したり、乗下船のタイミングが変更となりオンライン面談をスケジュール通り実施できない方がいた。

⇒プログラム参加者と禁煙指導員とのコミュニケーションを密なものとし、禁煙に対するモチベーションが下がらない等の改善を行う。

(参考) プログラム参加者の感想

- 定期的に通知がくるので日記をつけやすい。日記をつけることで自分の禁煙リズムを作れる。
- 日記を書くと、その内容を指導員が見てくれることが嬉しい。面談の時に日記に書いた内容を踏まえて話をしてくれたり、日記の内容に返信してくれることが嬉しい。
- 禁煙しなきゃいけないというちょうど良いプレッシャーがある。
- 通院と違って、すぐに相談できるところが良い。
- (アプリの) 動画を見ると正しくタバコや禁煙に関する知識を学ぶことができ、自分への戒めとなる。